

感染症に注意しましょう！



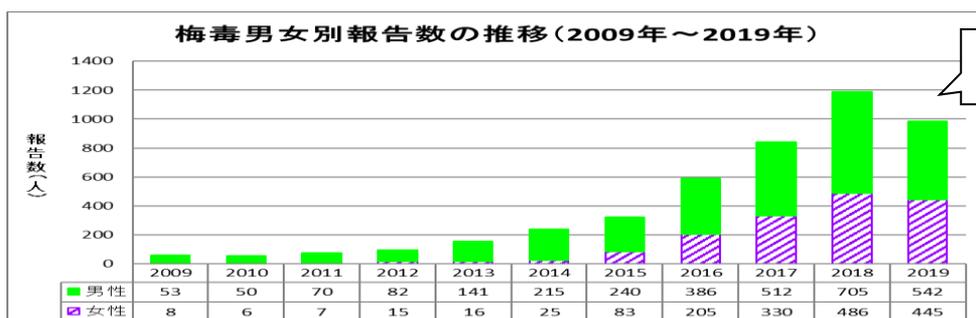
今年のインフルエンザは例年より流行が早く、北海道や東北地方では警報が発令されています。今後、年末年始にかけてヒトの移動が激しくなり、インフルエンザの流行拡大が懸念されます。例年冬期に流行がみられる感染性胃腸炎も11月末頃より増加傾向にあり、注意が必要です。手洗いの励行と咳エチケットを心がけましょう。

感染から一人ひとりを守るため、感染予防にご注意ください！
インフルエンザへの注意は保健室便り No98 をご覧ください。



！梅毒の患者数が急増しています！

全国の患者数は5,467人（2019/10/30現在）報告されています。2017年以降3年連続で5,000人を超え、急増しています。また、最近20代女性の感染者増加が目立ちます。梅毒は、感染力が比較的強く、性行為等により直接接触した粘膜や皮膚から感染します。



大阪府 梅毒の流行状況
2019年11月速報

■大阪府 梅毒の流行状況（2019年11月速報）保健所設置市を含む府内全域/NESID※より大阪府集計
※NESID（感染症サーベイランスシステム）とは：感染症を診断した医療機関からの発生報告を一元的に効率よく情報解析するために、地方自治体と国の行政機関を結ぶ情報システム



➤ 症状

感染後3～6週間後に感染部位にしこりが出来る、リンパ節が腫れる、手のひら、足裏に赤い発疹が出る等の症状が出ますが、放置していても症状が軽減する時期があります。しかし梅毒は、無症状のまま確実に進行していきます。検査や治療を受けずに経過すると、皮膚や筋肉、骨にゴム腫が発生し、心臓や血管、脳など多臓器に障害を起し、死亡することもあります。

➤ 治療

早期に抗菌薬を正しく服用すれば完治します。但し、再感染する場合があります、予防が大切です。

➤ 予防

コンドームの使用が有効ですが、完全ではありません。感染を疑う症状があるときは、早めに医療機関を受診して下さい。早期診断、早期治療を受ける事が、自分とパートナーを守るために大切です。



わからない事、不安なことがあればいつでも保健室へご相談ください。